

## 絵本『鏡の中のぼく』 ～挑戦する自分になる②～

### 授業の流れ（45分）

ねらい→①自己肯定感を高めていくための、対自分とのコミュニケーションを知る。

②これから自分に起こりうる困難を感じるような出来事に対して自分の可能性を制限してしまわないような思考に気付く。

③自分を認めたり、挑戦に向かったり、応援したりするような言葉を考える。

### 導入（10分）

#### ●前回の振り返り

●前回の授業の振り返りとして、〇〇さん（講師）が鏡の中の自分（友だち）と会話をしていたことを覚えている？

前回とは違った、講師の内側（鏡の中の自分）の会話を伝える。もしくは、児童に「みんなは今日までにどんなお話をしたのかな？〇〇さんに教えてくれる？」と投げかけ、引き出す。

### 展開（30分）

#### ●鏡自分との会話を思い出す

#### ●鏡の中の自分への応援の言葉を考える

●最近学校であった行事もしくは、近々ある行事などを子どもたちから聞き、そのとき自分がどんな会話をしているか想像し、プリントの吹き出しに書いてもらう。

→書いてもらった吹き出しの言葉を発表してもらう。

●鏡の中の自分への応援の言葉を考えてもらう。

これを言われたら、「よし！がんばるぞ！」と感じられる言葉を考えてもらい、可能な限り発表していただき、声に出してもらう。（板書を入れる）

### まとめ（5分）

#### ●今日伝えたかったこと

●「がんばってみたいけど、できるかな？」「心配だな…」と思ったときに、自分を応援する言葉をかけてみるという方法もあることを伝える。事柄によっては、応援の言葉をかけてもできないこともあるかもしれない。でも、できると言い聞かせることも自分を応援する方法の1つになるかもしれないねということも伝える。